



## 平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション  
コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 文樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 多賀 睦実

四半期報告書提出予定日 平成28年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-348-3300

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年10月期第2四半期の業績(平成27年11月1日～平成28年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	17,628	4.8	1,836	△0.3	1,896	△1.0	1,137	△4.7
27年10月期第2四半期	16,814	5.4	1,841	4.0	1,916	6.5	1,192	10.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年10月期第2四半期	115.84	—
27年10月期第2四半期	126.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
28年10月期第2四半期	20,715	51.6	10,698	39.0	—	—	1,047.96	—
27年10月期	21,489	39.0	8,386	—	—	—	891.78	—

(参考)自己資本 28年10月期第2四半期 10,698百万円 27年10月期 8,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年10月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年10月期	—	0.00	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年10月期の業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	28,500	3.3	2,400	9.2	2,450	2.9	1,650	2.8	164.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年10月期2Q	10,485,000 株	27年10月期	9,680,000 株
② 期末自己株式数	28年10月期2Q	276,288 株	27年10月期	276,288 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年10月期2Q	10,092,500 株	27年10月期2Q	9,403,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年11月1日～平成28年4月30日）における我が国の経済は、政府の経済政策による、企業収益及び雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念や欧州での地政学的リスクの高まりに加え、足許では急激な円高・株安に見舞われ、さらに日銀のマイナス金利導入など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社におきましては、第1四半期に暖冬の影響によりスタッドレスタイヤの需要が落ち込んだことで、店舗売上は厳しい状況となりましたが、第2四半期には若干の回復傾向が見られました。通販売上・業販売上は平成27年9月竣工の第3ロジスティクス及び自動組込装置が順調に稼働したことにより好調に推移しました。また、平成28年3月に宇都宮店を宇都宮市明保野町に新設移転しておりますが、同市鶴田町に保有する固定資産（旧宇都宮店）について他業種への賃貸が決定したため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、使用方法の変更による将来の回収可能性を検討した結果、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額することとし、減損損失額218百万円を特別損失に計上しました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は17,628百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は1,836百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は1,896百万円（前年同期比1.0%減）、四半期純利益は1,137百万円（前年同期比4.7%減）と増収減益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは10,753百万円（前年同期比4.7%増）、ホイールは4,879百万円（前年同期比5.8%増）、用品は561百万円（前年同期比7.1%増）、作業料は1,433百万円（前年同期比2.2%増）となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高は10,892百万円（前年同期比1.5%増）、本部売上高（通販）は4,668百万円（前年同期比12.2%増）、本部売上高（卸）は2,067百万円（前年同期比7.5%増）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は20,715百万円（前事業年度末比773百万円の減少）となりました。主な変動要因は、現金及び預金852百万円の増加、固定資産の売却及び減損損失の計上による有形固定資産765百万円の減少、売掛金303百万円の減少、商品271百万円の減少、未収入金144百万円の減少などによるものであります。

また、負債は10,017百万円（前事業年度末比3,085百万円の減少）となりました。主な変動要因は、短期借入金2,700百万円の減少、長期借入金543百万円の減少、買掛金192百万円の減少、未払法人税等121百万円の増加、前受金107百万円の減少などによるものであります。

なお、純資産は10,698百万円（前事業年度末比2,312百万円の増加）となりました。主な変動要因は、増資による資本金705百万円の増加及び資本剰余金705百万円の増加、利益剰余金902百万円の増加などによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,173百万円（前事業年度末比849百万円増加）となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は2,724百万円となりました。（前年同期は2,603百万円の獲得）

これは主に、税引前四半期純利益1,734百万円、減価償却費433百万円、減損損失218百万円、たな卸資産の減少額271百万円、法人税等の支払額477百万円、未払消費税等の増加額438百万円などによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は214百万円となりました。（前年同期は2,632百万円の使用）

これは主に、有形固定資産の売却による収入603百万円、有形固定資産の取得による支出325百万円、建設協力金の支払による支出68百万円などによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,089百万円となりました。（前年同期は1,936百万円の獲得）

これは主に、短期借入金の純減少額2,700百万円、株式の発行による収入1,396百万円、長期借入金の返済による支出543百万円、配当金の支払額234百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、平成27年12月14日に公表しました「平成27年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の算出方法)

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (有形固定資産の減価償却の方法)

当第2四半期会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、改正後の法人税法に規定する減価償却の方法によっております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

### (3) 追加情報

#### (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の32.5%から平成28年11月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.3%に、平成29年11月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.2%に、平成30年11月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については29.9%になります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	324,685	1,177,551
売掛金	1,926,419	1,622,476
商品	5,028,770	4,757,762
未収入金	948,390	804,182
その他	514,322	333,016
貸倒引当金	△90	△90
流動資産合計	8,742,496	8,694,899
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,837,227	5,620,000
減価償却累計額	△838,219	△685,001
建物(純額)	4,999,008	4,934,998
土地	3,296,956	2,690,062
その他	5,214,106	5,148,149
減価償却累計額	△1,869,633	△1,897,877
その他(純額)	3,344,472	3,250,272
有形固定資産合計	11,640,437	10,875,333
無形固定資産	176,616	170,156
投資その他の資産		
その他	929,848	975,534
貸倒引当金	△225	—
投資その他の資産合計	929,622	975,534
固定資産合計	12,746,677	12,021,023
資産合計	21,489,173	20,715,923

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,698,579	2,505,736
短期借入金	2,700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	726,666	606,666
未払法人税等	490,583	611,915
賞与引当金	64,670	66,540
前受金	357,097	249,663
その他	477,565	707,591
流動負債合計	7,515,161	4,748,114
固定負債		
長期借入金	4,963,333	4,540,000
退職給付引当金	97,405	105,156
資産除去債務	157,044	167,641
その他	370,227	456,722
固定負債合計	5,588,010	5,269,520
負債合計	13,103,172	10,017,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	1,236,515
資本剰余金	568,000	1,273,115
利益剰余金	7,319,266	8,221,324
自己株式	△32,665	△32,665
株主資本合計	8,386,000	10,698,289
純資産合計	8,386,000	10,698,289
負債純資産合計	21,489,173	20,715,923



(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	16,814,181	17,628,749
売上原価	11,580,844	12,040,785
売上総利益	5,233,336	5,587,963
販売費及び一般管理費	3,392,109	3,751,796
営業利益	1,841,227	1,836,167
営業外収益		
受取利息	2,627	2,759
為替差益	72,843	—
協賛金収入	16,151	72,627
その他	23,342	21,625
営業外収益合計	114,965	97,012
営業外費用		
支払利息	8,561	5,853
株式交付費	—	14,045
為替差損	—	15,636
シンジケートローン手数料	30,500	500
その他	1,044	841
営業外費用合計	40,106	36,876
経常利益	1,916,085	1,896,303
特別利益		
固定資産売却益	2,100	65,729
特別利益合計	2,100	65,729
特別損失		
固定資産売却損	—	225
減損損失	—	218,814
その他	—	8,479
特別損失合計	—	227,518
税引前四半期純利益	1,918,186	1,734,514
法人税等	725,457	597,363
四半期純利益	1,192,729	1,137,150

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,918,186	1,734,514
減価償却費	255,337	433,798
減損損失	—	218,814
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,510	1,870
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,001	7,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△225
受取利息及び受取配当金	△2,627	△2,759
支払利息	8,561	5,853
固定資産売却損益(△は益)	△2,100	△65,504
売上債権の増減額(△は増加)	△213,636	196,509
たな卸資産の増減額(△は増加)	427,485	271,007
仕入債務の増減額(△は減少)	573,398	△13,559
未払消費税等の増減額(△は減少)	63,814	438,970
その他	△32,603	△22,146
小計	3,006,327	3,204,893
利息及び配当金の受取額	2,627	2,759
利息の支払額	△8,229	△5,611
法人税等の支払額	△397,171	△477,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,603,555	2,724,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金等の純増減額(△は増加)	515	△526
有形固定資産の取得による支出	△2,590,711	△325,406
有形固定資産の売却による収入	4,800	603,425
無形固定資産の取得による支出	△38,450	△34,750
建設協力金の支払による支出	△20,000	△68,100
敷金の差入による支出	△4,450	△9,000
その他	15,919	49,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,632,377	214,700
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,500,000	△2,700,000
長期借入れによる収入	4,869,500	—
長期借入金の返済による支出	△240,000	△543,833
リース債務の返済による支出	△5,564	△6,622
株式の発行による収入	—	1,396,185
自己株式の取得による支出	△187	—
配当金の支払額	△188,704	△234,566
その他	1,382	△353
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,936,425	△2,089,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,907,604	849,752
現金及び現金同等物の期首残高	366,336	323,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,273,940	1,173,370

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年1月26日付で公募増資、平成28年2月16日付で第三者割当増資による払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ705,115千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,236,515千円、資本剰余金が1,273,115千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、カー用品等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

販売の状況

(品種別売上高)

品種	前第2四半期累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
タイヤ	10,273,224	61.1	10,753,573	61.0
ホイール	4,613,548	27.4	4,879,786	27.7
用品	524,444	3.1	561,501	3.2
作業料	1,402,963	8.4	1,433,888	8.1
合計	16,814,181	100.0	17,628,749	100.0

(販路別売上高)

形態	前第2四半期累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
店舗売上	10,729,207	63.8	10,892,920	61.8
本部売上(通販)	4,162,079	24.8	4,668,129	26.5
本部売上(卸)	1,922,893	11.4	2,067,700	11.7
合計	16,814,181	100.0	17,628,749	100.0